

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.237)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

国の環境政策であるPCB廃棄物処理事業も最終盤を迎え、東海4県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)内の高濃度PCB廃棄物も本年1月末で全ての受入を完了し、3月末にはPCBの無害化処理を終了して、豊田PCB廃棄物処理施設はその使命を終えることとなります。

平成17年9月に操業を開始し、PCB廃棄物処理事業を最後まで進めてこられたのは、一重に地元の皆様のご理解とご協力の賜物であり、ここに感謝とお礼を申し上げます。

また、長年の操業に際し、多くの関係者の皆様にご協力とご支援を頂きました。改めて感謝を申し上げます。

一方、当事業所には廃棄物を処理する際にPCBが付着した多くの設備や施設が残っており、付着したPCBを処理しながら設備や施設の解体撤去を安全に進める必要があります。一部の設備は昨年7月から先行して解体撤去工事を進めておりますが、本年4月以降は施設の解体撤去に専念して取組むこととなります。

施設の解体撤去につきましても、これまでと同様に安全を第一に進めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和6年1月

豊田PCB処理事業所長 大見 雄一

2. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検を実施

昨年の11月14日(火)から12月23日(土)まで、40日間をかけて施設全体の秋期定期点検を行いました。点検を問題なく終えることができ、安全を最優先に3月末の処理終了に向けて操業を再開しています。

●災害防止協議会の開催

定期点検の開始に先立ち、11月7日(火)に「災害防止協議会」を開催しました。協議会では、工事関係者に同時進行で進んでいる解体撤去工事の内容や当事業所特有の構造、作業ルールなどを周知し、作業事故や漏洩トラブルを起こさないことを全員で誓いました。



●定期点検実施作業の一例



(チラー設備から取外した圧縮機)

◆化学分解によるPCBの無害化処理を行うのが液処理設備です。反応槽に金属ナトリウム分散油(*)を入れ、攪拌しながらPCB油を少しずつ投入し、温度を制御して化学分解することで無害な物質に変化させていきます。温度を制御するための冷却水を製造するのがチラー設備で、今後は設備等に付着したPCBの処理に使用するので点検整備を行いました。この設備の心臓部である圧縮機は、メーカーの工場で直接整備するため取り外して工場へ送りました。

(*)金属ナトリウムを微粒子化して鉱物油中に分散させたもの

◆設備の稼働中に、突発停電が発生すると全ての機器は停止します。しかし、施設を安全に停止するための設備は稼働させる必要があり、その電源として非常用発電設備が運転を開始します。この発電設備は毎年点検を行いますが、ガスタービンエンジンで駆動するので焼き付きや機械摩耗しやすい部品、経年劣化した部品などを交換し、今後も安定して設備が稼働できるよう点検整備を行いました。



(点検整備中の非常用発電設備)

◆この他、空気コンプレッサー(空気圧縮機)は、窒素発生装置(PSA)用3基と調節弁等の制御用2基の5基を設置しています。このコンプレッサーは施設の解体撤去でも使用するので、故障に備えPSA用と制御用とをつなぐ配管と減圧弁を増設して、制御用側へ圧縮空気を融通できるようにしました。

3. 交通安全街頭活動に参加しました



豊田市で11月24日から12月31日まで「交通死亡事故多発非常事態宣言」が発令される中、12月5日(火)に「年末の交通安全市民運動」として「交通安全街頭活動」に参加しました。

当日は寒い中での街頭活動でしたが、豊田PCB処理事業所からはJESCOと運転会社の社員15名が参加し、タスキやハンドサインなどでドライバーに交通安全などの意識啓発を行いました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

